

国立極地研究所プロジェクト研究一覧

番号	研究課題名 (※)	研究業務内容	左記研究業務の年限と 募集人員	代表者・連絡先
KP303	南極における氷床－海水－海洋相互作用とそれらの変動	本研究課題では、東南極における氷床－海水－海洋相互作用特性の地域的相違の解明と十年規模変動の実態把握を目指す。具体的には、海洋の経年変動、および定着氷や氷河氷舌の十年規模変動の特性を解析し、それらを氷床－海水－海洋相互作用との関係から明らかにすることを目的とする。新たに導入する無人観測装置等を活用した海水・海洋観測を中心とする分野横断的観測研究を意欲的に進める研究者が望まれる。	平成 32 年 3 月まで (3 年間) 1 名	田村 岳史 准教授 042-512-0682 tamura.takeshi@nipr.ac.jp 【問い合わせ先】 牛尾 収輝 准教授 042-512-0676 ushio@nipr.ac.jp
KP305	南北両極のアイスコア解析による気候・環境変動の研究	本研究課題では、地球規模での気候・環境変動メカニズムの解明を目指し、南極や北極で掘削されたアイスコアから過去の気候・環境変動を復元する。アイスコアから気候・環境変動に関する情報を最大限に引き出すため、連続自動融解分析 (GFA) をはじめとする、様々な分析法を駆使して分析を行うとともに、必要に応じて分析法の改良・開発を行う。アイスコア・データの解釈のため、大気や雪氷表面過程の研究も合わせて実施する。また、必要に応じて南極やグリーンランドでアイスコア研究に関連したフィールドワークを実施する。	平成 32 年 3 月まで (3 年間) 1 名	東 久美子 教授 042-512-0674 kumiko@nipr.ac.jp
KP306	極域における固体地球の進化と応答	本研究課題では、極域の研究観測を基礎に、固体地球の応答と進化に関わる変動現象のメカニズムの解明を目的とする。極域の現場観測を中心に、地質、地球物理、地震、測地学等のデータを用いて、現在から数百万年スケールの地球表層環境変動に伴う固体地球の応答や、数百万年から数十億年スケールの固体地球の進化に関する研究を行う。	平成 32 年 3 月まで (3 年間) 1－2 名	野木 義史 教授 042-512-0711 nogi@nipr.ac.jp
KP308	南大洋インド洋区における海洋生態系研究	本研究課題では、南大洋インド洋区において得られたモニタリング観測等の資・試料を用い、海洋物理・化学・生物過程の変動を抽出するとともに、変動の主要プロセスを検証することを目的とする。 今回の公募では、既存のモニタリング観測等のプランクトン試料を用いて群集構造の解析や食性の解析を行い、その結果を迅速に公表できる研究者を求める。そのため、動物あるいは植物プランクトン試料の顕微鏡観察に十分な経験を有し、その成果を科学論文として多数公表している研究者が望まれる。	平成 32 年 3 月まで (3 年間) 1 名	小達 恒夫 教授 042-512-0738 odate@nipr.ac.jp

※ 各研究課題に係る業務の他、関連する研究プロジェクト等の業務に従事する場合があります。